

# コンピュータで得る自由

## ICT社会教育センター伝言板 -series twelve-



2020年は36.9万人、2030年には78.9万人のIT人材が不足するといわれる今、情報通信分野の技術者教育、専門知識の教育が課題となっています。大阪電気通信大学「ICT社会教育センター」は、初等中等学校教員向けのプログラミング教育のサポートなど各自治体の要請を受けて、社会貢献のために設立されました。このコーナーは、ICT社会教育センターの地域社会向けの伝言板です。さあ、子どもも大人も、楽しいプログラミングをどうぞ。

## 寝屋川市がインターネットでの授業動画配信

全国的に学校の休校処置が取られている中、寝屋川市では市立小中学校の小学1年生から中学3年生までの全員対象に、家

庭で学習ができるよう、インターネットでの授業動画の配信が行われている。

## 大学での遠隔授業開始

大阪電気通信大学では、前期の授業をインターネットを利用した遠隔授業として5月11日から実施。インターネット上のシステムで質問や課題提出などを行うオンデマンド型という方法と、ビデオ会議システム等を用いて授業同時双方向のリアルタイム型と呼ばれる方式とを併用したもので、学生は、授業の動画や講義資料などの教材に都合のよいときに取組んでいる。開始当初は、教員、学生ともに慣れていないこともあり、アクセス集中が発生し、システムが不安定な状況になったりしたが、大幅なシステムダウンにはならず、現在は順調だ。

遠隔授業では、「遠く離れた教室まで出向く必要がなくなり、利便性が高い」「教室授業に比べ生徒の発言や質問が増えた」「慣れれば直接教室で授業を受けるのと、ほとんど変わらない」「直接の教室授業よりも、自分のタイミングで繰り返し学習できる」等のメリットが見られる。

一方、「音声デレイがあるため、会話の成立に慣れが必要で、対面授業よりは時間がかかる」「音声の瞬断や一時的な劣化などシステムの微細な障害で、モチベーションがそがれる」等のデメリットも出ている。課題に取り組みながら、今後の進展に期待がかかる。

つなぐ知 かなえる技



大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

電話：072-820-3871

メール：ict-edu@osakac.ac.jp

